

機関紙はあもにい第59号

イラストのテーマ「夢の国」作者：丸山明美さん

発行日 年間2回（7月・1月）

編集 社会福祉法人白老宏友会 法人本部

白老郡白老町川沿1丁目553番地1

Tel (0144) 85-3100

HP : <http://www.shiraoi-kouyuukai.jp/>

2023年！

ウサギが跳ねるような
大きな飛躍の一年となりますように…



新年あけましておめでとうございます。

2020年2月3日クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が横浜に来航し、船内で次々に広がる新型コロナウイルス感染のニュース映像を観ながら、衝撃を感じつつも、どこか他人事のように感じていた事を今でも覚えています。それから3年程の月日が経過し、これほどまで我々の日常へ大きな影響を与えるとは当時は想像しがたいものでした。その様な中で、未だ終息の出口は見えない状況ではありますが、職員全体として引き続き気を引き締め、今後とも感染対策に取り組んで行きたいと思えます。

さて、当法人の歴史を振り返ると、昭和59年に一法人一施設として「白老愛泉園（当時：精神薄弱者入所更生施設、定員30名）」が開設されました。その後、利用者の方の地域の中での普通の暮らしを実現するために、当時では先駆的でありましたが、始めてとなるグループホーム「東町ハウス」が平成2年9月に認可され、以後次々と新たなホームを開設し、現在は17か所のグループホームにて約100名の方が生活をされています。白老の市街地を移動していると、何処かしらで利用者の方を見掛け、一住民として日々生活をされている姿が伺われます。

また、あぷろの支援拠点としては、平成29年4月に旧白老町建設協会の建物を取得し、改修・移転を行い、支援者の事務所、会議スペース等としながら、現在総勢80名以上の職員体制のもと、日々利用者の方々の充実した生活を支えるため奮闘しております。

グループホームの支援者としては、生活の中での皆様の想いに一番近い存在として関わらせていただく中、一人ひとりとのコミュニケーションや気持ちに寄り添う事を大切に、笑顔に励まされながらも、我々自らも成長をさせていただいております。

今後とも、職員一丸となり、「安心できる、地域の中での普通の暮らし」を目指して邁進して行く所存でございますので、皆様方のご理解、ご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。（あぷろセンター長：高井 勝治）



◎第1支援課

[世話人通勤型]

ポップハウス（定員3名）白老ハウス（定員4名）

あさひハウス（定員6名）みずきハウス（定員4名）

桜丘ハウス（定員5名）すずらんハウス（定員6名）

ハイツ日の出（定員5名）みなハウス（定員5名）

[世話人通勤・巡回夜勤]

青葉ハウス（定員5名）ホームりん（定員5名）

[サテライト型住居・単身生活者]

白老マンション、ツインフラッツB棟（各1名）

◎第2支援課

[夜勤職員配置型]

いころ・のんの・れら（定員各7名）

◎第3支援課

[夜勤職員配置型]

そら・とも・のあ（定員各7名）

かい（定員6名、併設型短期入所1名）

◎職員総数 84名

（令和4年12月1日現在）

地域生活支援センター あひま

第1支援課

第一支援課では、白老ハウスの移転に伴い、10月31日と11月1日に入居者様の引っ越しを行いました。入居者の皆様はこの日に向けて荷物の整理や買い物をしました。慣れ親しんだ仲間との別れもありましたが、また新しい生活を楽しんでいます。

(新) 白老ハウス



果物狩り



お別れ会



第2支援課

上段は感染対策を行い、集まっての実施は困難でしたが合同 BBQ を行った写真をピックアップしました！！行事が縮小化・延期される中、実施出来た事は利用者皆さんの楽しみに、職員にとっては励みになりました。

下段右側は誕生日外出の様子です。行き先や時間に制限がある事は辛いところですが、特別な1日になりました！！

下段左側は避難訓練(火災)の様子です。日々災害に備えて取り組んでいます！！

第3支援課

外出機会が限られてしまう為、定期的に各ホーム内で行事を開催しています。写真はお任せメニュー日・誕生会の様子です。豪華な食事やプレゼントを楽しみに皆さん過ごされました！！



コロナウイルスが感染拡大している中、感染対策に留意しつつも、各行事で利用者さんが楽しめるよう様々な工夫を凝らして職員一同協力して取り組んで参りました。
その中で7月から11月までに行われた行事での皆さんの様子を抜選して報告いたします！

夏祭り

専門学生の方々にボランティアに迎え、いつもとは、また違った雰囲気の中で行われました。「わたあめ」や「焼きそば」など様々な屋台が並び、皆さん美味しそうに食べていました☆

ハロウィーン

「チーズホットク」に初挑戦！！

午前中はお菓子作り、
午後は仮装パーティを行いました！

収穫祭

敷地内の畑にて「シャインマスカット」「大根」「カブ」を収穫！
お昼ご飯には皆さんで採った赤大根の漬物を作りました！シャインマスカットも食後のデザートに食べました！

夏季アイセンピック

8月26日に夏季アイセンピックが行われました！
「30m走」「フラフープリレー」「玉入れ」等の競技を行いました。綱引きでは職員も参加し、激アツの戦いになりました🔥

屋内活動

オリジナルキーホルダー作りを行いました！
職員の協力のもと、皆さん真剣に取り組んでいました！☆
可愛いキーホルダーがたくさんできました！

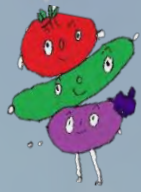
今後の予定

- 12月 忘年会
- 1月 新年会
冬季アイセンピック
- 2月 節分
バレンタインデー
- 3月 ひなまつり
ホワイトデー

今年の4月から愛泉園に勤めてもうすぐ1年が経とうとしていますが、まだまだ不慣れなことも多く、毎日が山あり谷あります。そんな中でも利用者さんが楽しそうにしている姿を見ると元気と幸せをもらえます。
今後も利用者さんの毎日が充実したものとなるよう、行事の計画や実施、日々の活動を行い、また私自身も精進していきます。

担当者：金山由明加

生活介護事業所



みらいえ



Instagram
やってます!!



Miraie2013401

行事や日中活動の様子を投稿しています！
フォローお待ちしております！！

MIRAIE GELATERIA

みらいえでは来年度より開業する「ジェラテリア」に向けて、作業棟の増築工事を行っています。

新たな作業棟は、地域の方々と利用者様をつなぐ、「地域共生」を目標にしてジェラテリアを開店します。その中で接客やジェラートの製造など、利用者様の作業として取り組んでいただく予定です。メニューは、みらいえ産のイチゴや野菜、愛泉園のマスカットやカシス、ポプリの自家焙煎珈琲を使い、地域で取れたものを皆様に味わっていただければと思います。

みらいえ「ジェラテリア」完成図



イートインスペースには！温もりある薪ストーブを設置。オープンデッキも併設。地域交流の拠点に！



ジェラート講習会の様子

ラズベリージェラート。今後はオリジナル商品開発も！

YOSAKOI&GOLF 活動始動！



よさこい練習及び、YOSAKOI のフラッグシップの「旗」を振る体験も行いました！見た目通り重い……。これを意のままに操るのは大変（笑）ゴルフ活動では実際にクラブでボールを打とうとしますが小さなボールにインパクトさせるのは大変！だけど大変な事こそ成功した時の喜びは大きい！練習を重ねて上達したい！頑張ろう！！

白老町文化祭出展



3年ぶり出展！芸術の秋！それぞれの個性を活かした作品が完成しました！これからも沢山いい作品を作っていきます！

異文化交流活動



ドイさん企画。インドネシア料理を調理する体験企画を実施！本場のナシゴレンを堪能しました！ナシゴレン美味しいよ！今度は何を作ろうかな？

ドイナルヒダヤット支援員

白老町文化祭



10月28日～30日、第57回白老町文化祭が白老町中央公民館で開催されました。生活介護では、10月17日『みんなあーと2022』展示部門において塗り絵作品『虹色のゾウ』で見事、北海道共同募金会会長賞を受賞した丸山明美さんをはじめ、中野綾香さんの『ガーランド』、鰐田秀治さんの『自画像』など個性豊かな作品を展示しました。他の方々の出展した独自性溢れる作品を鑑賞した利用者の皆さんは感銘を受けた様子でした。

ハロウィン企画



10月17日～10月31日の期間で、創作活動としてハロウィン「スノードーム作り」に挑戦しました。容器の中に自分で選んだカボチャのモチーフを接着し、スパンコール、ラメを自由に選んでもらい専用の液体を入れて、混ぜ合わせるなど、楽しい工程に皆さん笑顔で参加されていました。外側はマジックで模様付けやリボン、シールで飾りつけをし、世界でひとつだけのスノードームを完成させました。



ベーカリーショップななかまどは、この度30周年を迎え、10月14日（金）、15日（土）に周年記念感謝祭を開催しました！目玉商品として「シフォンドラ」「北海道なまらチーズプリン」を数量限定で販売した他、3年振りに野外特設会場にてガラポン抽選会やサーターアンドギーの実演販売を行いました。レンディさん監修インドネシアの万能調味料「サンバル」を使用した「チリホットドック」も販売しました。両日とも天候に恵まれ昨年度を超える沢山のお客様に足を運んで頂くことが出来ました。今後も地域の皆様をはじめ、利用者さん、職員と協力しながら末永く愛されるお店を目指して頑張っていきたいと思いますので、引き続きご愛顧の程宜しくお願いいたします。

年末餅のお知らせ

恒例のポプリ大事業である年末餅事業の時季がやって参りました。事業の一つにあるお歳暮商戦の看板商品『幸せ餅』は店頭受け渡しをはじめ、ふるさと納税、さとふるを通じて限定300セットの販売を致します。年末年越し餅は12月28日、29日の2日間店頭にて販売を予定しており、今年も昔ながらの製法で搗いたコシのある美味しいお餅を販売します。コロナ禍に負けず幸多き新年を迎えていただけるよう心を込めて最高の年越し餅を販売致します。

秋季就労学習会



感染防止対策に留意し、少人数の班に分かれ学習会を実施しました。今回は、苦小牧や登別の人気のパン、お菓子屋を巡り、商品や接客サービス、店内を視察しました。自分が担当している仕事と重ね、それぞれの視点で想いや感想を仲間と生き活きと会話をしながら参加する姿が窺えました。各々好きな商品を購入しながら、新作の商品を考える様子が見られ大変活気ある有意義な時間を過ごすことができ、利用者さん個々の成長が垣間見えた学習会となりました。

初売りのお知らせ

令和5年1月5日（木）11時より初売りセールを開催いたします！10時半より毎年恒例の餅つき大会を実施する他、お子様からアイデアを募集した干支パンや人気、定番商品を入れたパン、冷凍餅の福袋を数量限定で販売します！初売りは是非、ベーカリーショップななかまどへ足をお運びください！

短期入所事業所「かのん」

利用定員 3 名の単独型のサービス形態で実施している短期入所事業所「かのん」の運営については、川沿事業部（生活介護みらいえ、グループホーム、相談支援ゆから、短期入所かのん、共生型事業所はあもにい）に属した形で利用者の受け入れを行い、ニーズに合わせた生活支援を行っています。職員は個々人の特性を理解し共通認識をもって支援を行い、必要な場合には川沿事業部の中での連携協力により進めております。

新型コロナウイルス蔓延防止に関して、感染予防の観点から利用者の健康面を第一とし受け入れ態勢の状況を判断精査しながら福祉事業所の使命として希望される利用者に対する短期入所のサービスを実施していきます。



(川沿事業部 合同避難訓練（地震津波想定）の様子)

指定特定相談支援事業所「ゆから」

川沿事業部に属し当法人の共生型事業所「はあもにい」内に拠点をおく指定特定相談支援事業所「ゆから」は、主に法人内の利用者を中心に一部白老町内住居の利用者の計画相談を担当しサービス提供の調整支援などを行っています。協力支援者や地域環境など協議の上ご本人やご家族の「その人らしい暮らし」を支えてまいります。

今回の
キラリさん!

今回のキラリさんは・・・
「地域生活支援センターあぷろ」三浦啓一さんです。
三浦さんから「キラリ」な一言をいただきました。



週 5 ～ 6 日の頻度で、1 日 8 時間、白老町竹浦にある「フォーレ白老」で働いています。仕事の内容は、きのこを育てるための菌床（きんしょう）の管理作業となっています。勤務態度は至って真面目で、力があることから、重たいものを運ぶ際には特に頼りにされています。仕事だけではなく、身の回りのことも頑張っており最近では取れそうになった服のボタンを自ら裁縫道具を用いて直すことにも挑戦しています。

地域貢献事業（共生型事業所はあもにい）

「ご近所野菜市」は 10 周年を迎えました!

家庭菜園で育てた新鮮な野菜や花を持ち寄り、野菜市を行いました。令和 4 年度は昨年同様「駅北会場」と「川沿会場」にて実施いたしました。「駅北会場」では向かいのウポポイからの集客もあり初日の 8 月 6 日は 10 周年オープニングセレモニーとして巨大ガラポン抽選会を実施! 大変にぎわっておりました。「川沿会場」では 9 月 27 日に最終日として巨大ガラポン抽選会、壮瞥産リンゴ販売など大盛況にて終わることができました。毎年開催を待ちわびるお客様からの問い合わせがあり、反響を大変うれしく感じております。是非次年度の「ご近所野菜市」をお楽しみにお待ちしております!



色とりどりの野菜は新鮮ですよ。
巨大な野菜を抱えて「今晚のおかずは何でしょう?」(*^▽^*)

白老ふれあい食堂「ウタル」

地域の子どもたちにも無償で食事を提供する子ども食堂の活動を通し居場所づくり事業に取り組んでいます。地域の主婦が中心となり 2018 年から活動している「白老ふれあい食堂実行委員会（井原美智子代表）」は当法人の「はあもにい」を拠点に子供たちの成長を支えています。

活動は毎月第 2、第 4 土曜日で、子供は無料大人は 300 円で提供しています。学習支援にも取り組んでいます。コロナ禍以降は弁当配布の形式で続けています。「いつも元気な笑顔に励まされ、これからも子供たちのコミュニティーの場として続けていきたい」と思う。

※支援金及び食材協力店（敬称略）

苫小牧地方法人白老地区会、白老マザーズ、牛の里、白老きのこファーム、白老町内有志

～～寄贈～～

障がい者支援施設大滝学園様より
お茶、マスク、フェイスシールドを
いただきました。ありがとうございます。



～～お悔み～～

白老宏友会の設立及び白老愛泉園の初代施設長としてご尽力されました「大高リョウ」様が令和 4 年 11 月 22 日にご逝去されました。99 歳でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

この度の機関紙はあもにい表題のイラストは、多機能型事業所ポプリ利用者さんの丸山明美さんです。丸山さんは、みんなあーと 2022 にて「北海道共同募金会会長賞」を受賞!



丸山明美さん

塗り絵を毎日、精力的に取り組み、巧みな色使いと丁寧な塗り方でとても美しい仕上がり
の作品を制作しています。



受賞作品「虹色の象」

…編集後記…

いよいよ 2023 年の幕開けです。癸卯（みずのとう）年は、「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になる」と考えられるようです。良い一年になりますように。(法人本部：中辻千恵)



新任職員紹介（採用年月日）

「あぷろ」

- * 中川 洋子（世 話 人）R4.8.29
- * 谷野 弘み子（世 話 人）R4.10.1
- * 平田 美智子（生活支援員）R4.11.1
- * 平野 雪子（世 話 人）R4.12.1

「ポプリ」

- * 対馬 勝利（職業指導員）R4.9.1
- * 水戸 茜里（職業指導員）R4.11.1